

子どもの自立・就職に向けて
親ができることを一緒に考えてみませんか？

参加無料

～保護者セミナー～

開催日時

平成30年 **4月21日(土)**

時間：13:30～16:00

会場：福井県社会福祉センター（福井市光陽2-3-22）



講師：龍谿 ^{たつたに} 乗峰 ^{じょうほう} 氏 前敦賀短期大学教授

テーマ：「“堂々巡り”はどの様に起きているの？」

「自律と自立」をテーマにケース事例で考えます

内容：講師によるセミナー・ワーク・意見交換ほか

対象：無職のお子さんを持つご家族の方

定員：20名（事前にサポステふくいまで申し込み下さい）

【講師紹介】

龍谿先生は、教育関係を中心に30年ほどカウンセリングに携わり、その間、病院でチームを組みながら心理療法に関わってこられました。現在は、大学や専門学校などで講師をされており、専門分野は家族臨床心理学、カウンセリング臨床などです。

2月開催のセミナーレポート

日時：平成30年2月24日(土)

テーマ：「若者の就労とコミュニケーションについて考える座談会」

講師：福井県発達障害児者支援センター スクラムふくい 相談員 野村昌宏氏

講師の野村さんは、まず、スクラム福井の事業内容を紹介し、特に就労の相談に訪れる方について次のように話されました。就労の経験はあるが、離職や転職を繰り返し、30歳や40歳という節目に相談に来られる傾向が見られるとのこと。また、発達障害の特徴はみられるが、診断に至らない方の相談に応じることがあり、性格の問題とされる方もいます。大きな特徴として、コミュニケーションが課題となることが多いようです。事例の紹介では、相談者の課題に対して、日常生活や就労の場面でどのような対処をしたか、ポイントにふれながら話されました。また、就労先での役割の明確化や自己選択の尊重などがありました。そのことで、保護者は不安があるものの本人は継続して働くことが出来たそうです。別の事例では、長期に勤めていた方が、中間管理職になり、部下への指示の出し方に困難さを覚え、退職する場合もあったとのこと。また、診断がある方だと支援後の就労の種類として、診断名を就業先に伝える場合、伝えない場合、福祉サービスを利用する場合と様々なケースがあることを話されました。その後、参加者が小グループに分かれ、「仕事を長く続けるには？」というテーマで、「本人に必要なもの・こと」と「社会・職場に求めるもの・こと」の2点について、保護者が日ごろ思うことを話してもらい、共有することで、我が家だけではないと安心を得られたようでした。野村さんはまとめとして、本人への関わりについて家族の中で統一した方針を共有していること、本人と定期的話す時間（数分でもよい）と機会を定期的にもつなど、家庭で本人に関わるためのコツを話され、セミナーを終えました。



サポステふくいは、厚生労働省の委託事業で、福井県との協働で若年無業者の方の職業的自立支援を行っています。

ふくい若者サポートステーション（サポステふくい）

福井市光陽2丁目3-22 TEL：0776-21-0311

（受付時間 月～金 9:00～17:00） E-mail: info@fukui-yss.com